

君の椅子、新作第一号はえまちゃんだ

4月25日、道立旭川美術館（旭川）で今年の君の椅子新作発表会、新作第一号の贈呈式を行い、トップを切って東町2、野上芳則さん（40）、朋子さん（34）の長女、えまちゃん（1月3日生まれ）が今年の椅子第一号のプレゼントを受けました。



東川から始まった君の椅子プロジェクトは、9年目を迎えました。新たに中川町が加わり、剣淵、愛別、東神楽各町と合わせて、上川管内5町の子どもたちが、初めての居場所として小さな椅子を手にするができるようになりました。

新潟県出身の芳則さんと横浜市出身の朋子さん。2人は大雪山層雲峡で知り合い、3年前東川に転居してきました。

「空気が良い、景色が良いのが最高。玄関のドアを開けたらすぐ大雪山が見えるし、水がおいしいところも良い」と、えまちゃんを授かったこの町が2人の新たなふるさと。松岡市郎町長か

昔懐かしい映像フィルム上映会

4月26日、NHK旭川放送局と町が共催して農村環境改善センターで「なつかしの東川」映像セミナーを開きました。

昨年9月に続く同セミナー第2弾。故飛弾野数右衛門さん（2008年12月、94歳で逝去）が残した膨大な記録映像から、約2時間に再編集したダイジェスト版を上映しました。



那須敦志NHK旭川放送局長の司会で、飛弾野さんの長男、哲宏さん（70）、元町議の上田亮一さん（83）、元役場職員の前田豊さん（78）3人が

解説しました。

第1部は主に戦前の記録映像。東川中学校の運動会風景を振り出しに、東川神社の初つ切り（しよつきり）相撲、中国東北部（旧満州）への開拓団出発壮行会（昭和14年）など、当時の人々の様子がよみがえりました。

第2部は工事現場の記録を中心に、忠別川護岸工事（同9〜10年）、冬の造材切り出し作業（同30年ごろ）、役場庁舎新改築作業（同24年）など。会場は高齢の町民が多く、昔日の記憶と重ね合わせているようでした。

ソチ五輪代表の石田選手、旭岳でクロカンスキー教室

ロシア・ソチオリンピック日本代表の石田正子選手（33）は美幌町出身。旭大高、日大、J R北海道が5月3日、旭岳クロスカントリースキーコースで「石田正子選手とスキーをしよう」講習会を開きました。関連22名。

町内、旭川市内、東神楽町内の1年生から6年生、技術上達を目指す中学

生合わせて27人が参加しました。旭岳での講習会で講師を務めるのは2年ぶり。今回はフリー走法（スキーティング）の講習です。お手本を披露した後、急な上り、下りがある林間コース約2キロで練習方法を伝授しました。

この日は、春の陽気がいっぱい。まだ積雪が1メートル以上残っているコースでは、国内大学の春合宿でいつも通りにぎわっていました。

